

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 17日

事業所名

こっこ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1		動線をさらに工夫し活動スペースを効率的に使えるように整頓を行う
	2	職員の配置数は適切である	5			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		関連業者との連携を図り自社の業務改善に努めていく
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		毎月2回研修の時間を設けている	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	2		プログラムが固定しないように様々な情報を支援者同士で共有していく
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	1		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			申し送りのノートや電子機器を利用し支援者同士で共通理解している
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1		申し送りのノートや電子機器を利用し支援者同士で共通理解している
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	2		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		5		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		5		今後は増やしていきたい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5		何度か交流があったが、今後はもっと増やしていけます
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		5		ペアレントトレーニングの研修する機会を増やしていく
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	保護者と申し送り等や面接で問題を話せるようにしている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		コロナの為開催出来なかったが今後保護者が集まる機会を増やしていく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	1			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		コロナの為開催出来なかったが今後は地域住民と交流する機会を増やしていく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			ヒヤリハットの事例をファイリングし共有している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 こっこ 保護者等数(児童数) 6 回収数 5 割合 90%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	4	1				
	2	職員の配置数や専門性は適切である	5					
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	1				
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	5					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	2				
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5					
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	5					
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある				5	コロナが落ち着いたら交流をして欲しい	時機を見て今後は交流を考えていきます
適切な支援の提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	5					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	3	2				
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	2	3		1		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	5				送迎の時に話を聞いてくれる	送迎時は共通理解を出来る時間の一つなので大切にコミュニケーションを図っていきたい
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	5					
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている		2	3		集まれる機会がふえてくれたらいいな	保護者会や親子イベントを考えています
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	4			1		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	5					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	4			1		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	5					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	5					
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	3			2		訓練を行った際に申し送りで伝える
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	5				通うのを楽しみにしている	継続して楽しいと思える環境づくりをしていく
	23	事業所の支援に満足している	5					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月17日

事業所名 こっこ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	4		1		動線をさらに工夫し活動スペースを効率的 に使えるように整頓を行う
	2	職員の配置数は適切である	5				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	5				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	3	2			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	5				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	5				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている		5			関連業者との連携を図り自社の業務改善に 努めていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	5			毎月2回研修の時 間を設けている	
適切な支 援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	5				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	3	2			
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	3	2			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	3	2			プログラムが固定しないように様々な情報を 支援者同士で共有していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	4	1			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	5				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	5				申し送りのノートや電子機器を利用し支援者 同士で共通理解している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	5				申し送りのノートや電子機器を利用し支援者 同士で共通理解している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断して いる	5				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	5				

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	5				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連 絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡）を適切に行っている	5				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	5				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	5				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	4	1			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている		4	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	3	2			
	27	〈地域自立支援〉協議会等へ積極的に参加 している			5		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	5				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている		4	1		ペアレントトレーニングの研修する機会を増 やしていく
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	5				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	4	1		保護者と申し送り 等や面接で問題を 話せるようにして いる	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している			5		コロナの為開催出来なかったが今後保護者 が集まる機会を増やしていく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	5				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5				
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている			5		コロナの為開催出来なかったが今後は地域 住民と交流する機会を増やしていく

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5				ヒヤリハットの事例をファイリングし共有している

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 5月 17日

事業所名 こっこ

保護者等数(児童数)18 回収数 14割合 70%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	2			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	2			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14				
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14				
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	13	3			
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		10	4	コロナが落ち着いたら機会を増やしてほしい	今後は交流の機会を増やしていきます
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	2			
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	2			
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	4			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			14	話せる機会があるとよい	保護者間の情報共有する機会を増やしていきます
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14				
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	4			
	14	個人情報に十分注意しているか	14				
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	3			
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	3			
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	13	1		楽しく通所している	継続して楽しいと思える環境づくりをしていく
	18	事業所の支援に満足しているか	13	1			

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。